レセプト情報・特定健診等情報データベースを用いた
高齢者救急医療に関する包括的実態観察研究に関して

【研究課題】
レセプト情報・特定健診等情報データベースを用いた高齢者救急医療に関する包括的実態観察研究（審査番号：2021130NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】
この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。
代表研究機関　京都大学医学部附属病院
研究代表者　　京都大学医学部附属病院救急科教授　大鶴繁
分担研究機関　東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座
研究分担者　　東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座特任准教授 隈丸 拓
　担当業務　　データ解析

【研究期間】
2021 年 7 月 21 日 ～ 2022 年 11 月 27 日
【対象となる方】
2011～2015 年の各年の 10 月に全国の医療機関を受診した方

【研究の目的】
　本研究では、全国規模かつ高い悉皆率でデータ収集されている「レセプト情報・特定健診等情報データベース」（以下、NDB）を用いて、全国の高齢者救急医療の実態を調査することです。特に、心肺停止、外傷、脳血管障害、急性腹症、心不全、呼吸不全、熱中症・偶発性低体温などの環境異常症等について、発生頻度、患者動向や治療実態を評価します。

【研究の方法と情報項目】
　本研究で利用する情報は、厚生労働省保険局の管理する全国のレセプト情報・特定健診等情報データベースのサンプリングデータセットです。サンプリングデータセットには医科入院レセプト」「医科入院外レセプト」「調剤レセプト」「ＤＰＣレセプト」の4種類のレセプトの、10月診療分データから一定の割合で抽出をかけたうえで、希少な傷病名などを削除したデータが含まれます。
　全国の医療施設を受診された際に発生するレセプトデータを用いて、救急医療で病院にかかった方の年齢分布や、年齢層別の性別、診断名、診療行為、転帰などを集計します。また、診断名や診療行為と転帰の間の関連の評価などを行います。
　データは厚生労働省が匿名化した状態で提供します。施設や氏名、カルテ番号などの患者さんを同定できるような情報は含まれません。また希少な診断名は削除されています。データ、そしてそこから作成される情報は、厚生労働省のガイドラインに沿った運用規定に基づいて厳格に管理され、取扱い者として登録された者のみがアクセ

スします。また、公開用に作成した集計値は厚生労働省の確認・承認を得た上で公開されます。

東京大学でこの研究に使用する資金は、東京大学医学系研究科医療品質評価学講座の社会連携講座設置費より支出致します。研究分担者の関係する資金に関する情報はすべて東京大学医学部利益相反アドバイザリー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

この研究についてお知りになりたいことや疑問に思われた場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。

2021年7月

【問い合わせ先】
東京大学医療品質評価学講座　特任准教授　隈丸　拓
住所：東京都文京区本郷７－３－１
電話：03-5800-9121　FAX：03-5800-9121
Eメールでのお問い合わせ：hqa-adm@umin.ac.jp